

平成28年度 行政評価 施策カルテ

施策名	2 地域特性を生かした魅力ある拠点の形成
-----	----------------------

施策主管課	地域政策室	総合計画記載頁	149ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために	政策名 (基本施策名)	21 機能的で魅力のある都市空間を形成する	政策の達成目標 (基本施策目標)	市内の地域が、その特性に応じた個性や魅力、都市機能を備え、コンパクトで調和のとれた都市空間が形成されています。
------	----------------------------------	----------------	-----------------------	---------------------	---

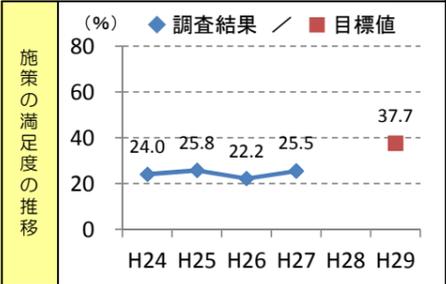
2 施策の取組状況

施策目標	地域特性に応じた都市機能が集積され魅力ある拠点が形成されます
------	--------------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価
	指標1	人口集中地区(DID)人口	単年度目標値	384,583	384,583	384,583	392,000	392,000			392,000	-	指標3	施策の満足度(%)	調査結果	24.0%	25.8%	22.2%	
現状値			384,583人	実績値	-	-	-	-	目標値(H29)	37.7%	前年度からの増減				1.8%	-3.6%	3.3%		
目標値(H29)			392,000人	単年度の達成度	-	-	-	-	-	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)	B								
指標2	都市拠点(市内中心部)の通行量(平日)	単年度目標値	105,000	106,000	107,000	108,000	109,000	110,000	B	【参考】中核市等との水準比較	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29	
		現状値	103,880人	実績値	-	99,428	-	86,245			中核市平均	6115.4	6214.4	6261.8	6339.9				
		目標値(H29)	110,000人	単年度の達成度	-	93.8%	-	79.9%				実績値	5414.4	5414.4	5414.4	5414.4			
指標3	人口集中地区(DID)人口密度	単年度目標値							中核市での本市の順位		中核市平均	25位/41市中	25位/41市中	26位/42市中	27位/43市中				
		現状値									実績値								
		目標値(H29)																	

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 逓減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調:(A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調:(主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている:(C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	国においては、多極ネットワーク型コンパクトシティ推進のため、都市機能誘導区域等における施設立地や地域公共交通整備支援等に取り組むとともに、今後、加速する人口減少に的確に対応し、将来にわたって活力ある社会を維持していくため、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少問題の克服と地方創生に取り組んでいる。	市民満足度	各拠点において、駅前広場等の交通結節機能の強化や生活利便施設等の立地促進等、拠点形成に向けた取組みが実施されているものの、施策の満足度は前年度と同水準の結果となっている。	総合評価	75点
施策指標	・本市の人口集中地区(DID)人口に係る数値については、国勢調査結果を用いており、平成27年度実施結果の把握は平成28年10月の予定である。 ・都市拠点の通行量の数値については、調査当日猛暑であったため外出を控える要因となり、減少となった。				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・ 主要事業 ※	事業の目的	事業内容		事業の 進捗状況	H27 事業費 (千円)	開始年度	日本一 施策 事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	中心市街地活性化推進事業	○★	都市機能の集積や地域経済の活性化	市民・来訪者	「第2期中心市街地活性化基本計画」に基づく各事業の推進	計画どおり	300	H21		ネットワーク型コンパクトシティの中核として本市全体の発展をけん引する都市拠点の形成を図るため、「本市の顔」にふさわしい活力と魅力ある中心市街地の形成を図る。 平成28年度は、第2期中心市街地活性化基本計画に掲げた目標の達成に向け、引き続き庁内関係課や民間事業者との適切な役割分担と連携のもと各種施策事業を効率的・効果的に実施するとともに、計画に計上した現在検討段階である民間主体の各種取組について、計画期間内の着実な事業化が図れるよう、民間事業者の誘導・支援に取り組む。
2	宇都宮駅東口地区整備事業	○★	公共と民間が一体となった本市のまちづくりをリードする新たな都市拠点の形成	市民・来訪者	広域的な交流・賑わい創出に資する立地施設(コンベンション、商業等)の整備	計画より遅れ	466	H16		都市拠点の形成に向け、公共と民間が一体となって、広域的な交流の促進や賑わいの創出等、高次な都市機能の集積を図る。 平成28年度は、宇都宮駅東口地区整備推進懇談会、市議会調査特別委員会からの提言等、及びこれまでの民間事業者への調査結果等を踏まえ、導入が望ましい機能やコンベンション施設整備の実現性を見極める等、事業化について判断した上で、整備方針の策定等、事業者募集に向けた取組を進める。
3	中心市街地西地区まちづくり推進事業		中心市街地西地区まちづくりの推進	市民・来訪者	都市機能の更新や交通結節機能の強化等による地区整備の実現	計画どおり	0	H26		ネットワーク型コンパクトシティの中核となる都市拠点の形成に向け、センターコアの西側に位置する中心市街地西地区における都市機能更新や交通結節機能の強化等を図る。 次年度はLRT宇都宮駅西側整備を見据えながら、引き続き地区整備のあり方について検討を進めていく。
4	再開発促進事業	○★	高次な都市機能の集積を図るとともに、安全・安心で快適な市街地を形成する	市街地総合再生計画対象地区内再開発準備組合:バンバ地区、千手・宮島地区)	市街地再開発事業に係る高度な専門知識を有するコンサルタント派遣	計画どおり	4,839	S57	トップクラス	市街地再開発事業は、老朽建築物の更新による防災性の向上や、高度な都市機能の集積を図る事業であり、検討地区の事業化に向け、権利者の合意形成の取組や、実現可能な事業計画となるよう、準備組合を支援・指導していく。
5	大手地区市街地再開発事業補助金	○★	高次な都市機能の集積を図るとともに、安全・安心で快適な市街地を形成する	宇都宮大手地区市街地再開発組合	・市街地再開発事業の実施に係る補助金の支出 ・職員による事業に対する技術的支援	計画どおり	662,228	H25		本事業は、多様なニーズに対応した都市型住宅や利便性の高い商業施設を整備するものであり、都心居住、定住促進による中心市街地の活性化に寄与することから、平成30年度の事業完了に向け、円滑に事業が進捗するよう定期的に工程管理を実施する等、組合を支援・指導していく。
6	JR宇都宮駅西口周辺地区の整備	○★	宇都宮の玄関口としてふさわしい、多様な都市機能の集積を図る	市民、来街者及び関係権利者	・LRTルートや駅前広場等の一体的な検討 ・地元まちづくり活動の支援等	計画どおり	8,802	H19		県都の玄関口に相応しい都市拠点の形成に向け、高次な都市機能の集積や交通結節機能の強化を図る。JR宇都宮駅西口周辺地区整備基本計画策定に向けた検討を進めるとともに、地元まちづくり活動の継続的な支援を行う等、引き続き地区整備の推進に取り組む。
7	岡本駅周辺整備事業	○	岡本駅周辺地域整備の推進	岡本駅周辺、北東部地域住民	岡本駅東西自由通路・橋上駅舎や駅前広場等の整備の推進	計画どおり	316,079	H21		北東部の地域拠点を形成するため、交通結節機能の充実や駅前景観の創出に資する岡本駅の東西自由通路や橋上駅舎、駅前広場を整備する。 また、JR東日本や関係機関と連携を図りながら、東西自由通路西口の開設に併せた各施設の一体的な供用に向けて取り組む。
8	宇都宮まちづくり推進機構補助金		中心市街地の賑わい創出や魅力向上	宇都宮まちづくり推進機構	中心市街地活性化に向けた事業の実施支援	計画どおり	17,593	H11		ネットワーク型コンパクトシティの中核となる都市拠点の形成に資する事業の推進を図るため、中心市街地のまちづくりに取り組む中核的な組織であるまちづくり推進機構に対する支援を行う。 平成28年度は、引き続き旧公益質屋(大谷石蔵)活用事業やイルミネーション事業、かまがわ川床桜まつり事業等の継続的な実施や、NPO法人のメリットを活かした自立的・安定的な経営基盤の確立に向けた新たな収益事業並びに第2期中心市街地活性化基本計画に計上した事業の検討・実施等について支援していく。
9	宇都宮テクノポリスセンター地区開発整備推進協議会負担金		テクノポリスセンター地区の施設立地促進	宇都宮テクノポリスセンター地区開発整備推進協議会	イベント等におけるPR活動等販売促進活動	計画どおり	200	H6		テクノポリスセンター地区については、ネットワーク型コンパクトシティにおける東部地区の拠点として、地域の生活を支える多様な都市機能や先端・高度技術産業、研究開発型企業等が集積したまちづくりを推進するため、平成28年度は住宅系用地、産業系用地の施設立地に向けて販売促進活動に取り組む。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	<p>◆地域特性を生かした魅力ある拠点の形成にあたっては、拠点形成に向けた取組みが実施されているものの、都市拠点の通行量や市民満足度が伸びていないことから、更なる魅力ある拠点の形成に向け、各地域の特性を生かした交通結節機能の強化や都市機能の誘導・集積につながる基盤整備、施設整備等に取り組むとともに、市民や事業者、また、ソフト事業との連携を図りながら、魅力ある拠点づくりに取り組む必要がある。</p> <p>◆拠点形成に向けた事業の推進にあたっては、関係機関とのさらなる連携や関係権利者の合意形成等を図るとともに、企業収益や雇用・所得環境の改善等により、市税収入は回復基調が続き増加しているが、今後迎える人口減少への対応やオリンピック等の開催に向けたインフラ整備等による建設資材の高騰が懸念されること等、各事業の財源確保が厳しくなることを踏まえ、効果的・戦略的に取り組んでいく必要がある。</p>
方向性	<p>〈施策全般〉</p> <p>◆まちづくりの方向性を示す「ネットワーク型コンパクトシティ形成ビジョン」を踏まえ、「立地適正化計画」における都市機能誘導区域の検討の中で、各拠点に集積する都市機能や土地利用等を具体化するとともに、その実現に向け、市民・事業者・行政が連携しながら魅力ある拠点の形成に向けた施策・事業に取り組む。</p> <hr/> <p>〈主要事業〉</p> <p>◆中心市街地活性化推進事業 第2期中心市街地活性化基本計画に基づき、庁内関係課や民間事業者等との適切な役割分担と連携のもと、各種施策事業を効率的・効果的に実施するとともに、計画に計上した現在検討段階である民間主体の各種取組について、計画期間内の着実な事業化が図れるよう、適切な誘導・支援に取り組む、活力と魅力ある中心市街地の形成を図る。</p> <p>◆JR宇都宮駅周辺地区整備の推進 社会経済情勢の変化や民間事業者の動向を踏まえ、LRT事業等関連事業との整合を図りながら、事業化を推進し、都市拠点の形成を図る。</p> <p>◆市街地再開発事業 今後の社会経済情勢を踏まえた事業計画の検討や、円滑な工事推進に向け、地元組織に対して適切な支援指導を行う。</p> <p>◆岡本駅周辺整備事業 岡本駅西土地区画整理事業の進捗と整合を図るとともに、JR東日本等関係機関との協議・調整を行いながら、駅周辺の利便性向上、良好な駅前景観の創出等を図り、北東部地域の地域拠点の形成を進める。</p> <hr/> <p>〈その他個別事業〉</p>